

製品安全データシート

【1.製品及び会社情報】

製 品 名 : Propastop TYPE E (プロパストップ タイプE)

会 社 名 : 株式会社 カルモア

住 所 : 〒104-0033 東京都中央区新川 2-9-5

担 当 部 門 : プロサービスチーム

電 話 番 号 : 03-5540-5851

F A X 番 号 : 03-5540-5852

発 行 日 : 平成 22 年 8 月 2 日

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

【物理化学的危険性】

火薬類	[分類できない]
可燃性/引火性ガス	[分類対象外]
可燃性/引火性エアゾール	[分類対象外]
支燃性/酸化性ガス	[分類対象外]
高压ガス	[分類対象外]
引火性液体	[区分 2]
可燃性固体	[分類対象外]
自己反応性化学品	[分類できない]
自然発火性液体	[区分外]
自然発火性固体	[分類対象外]
自己発熱性化学品	[分類できない]
水反応可燃性化学品	[区分外]
酸化性液体	[分類できない]
酸化性固体	[分類対象外]
有機過酸化物	[分類できない]
金属腐食性物質	[分類できない]

【健康に対する有害性】

急性毒性(経口)	[分類できない]
急性毒性(経皮)	[分類できない]
急性毒性(吸入:気体・蒸気)	[分類できない]
急性毒性(吸入:粉塵・ミスト)	[分類できない]
皮膚腐食性/刺激性	[区分外]
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	[区分 2A]
呼吸器感作性	[区分外]
皮膚感作性	[区分外]
生殖細胞変異原性	[区分 1B]
発がん性	[区分外]
生殖毒性	[区分 1A]
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	[区分 3]
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	[区分 2]
吸引性呼吸器有害性	[分類できない]

【環境に対する有害性】

水生環境急性有害性	[区分外]
水生環境慢性有害性	[区分外]

【危険有害性成分】

- ・人の健康に対する有害性 : 含有のエチルアルコールの高濃度蒸気は麻酔作用があり、液体と接触すると眼、気道及び消化器官の粘膜を刺激する。
- ・環境への影響 : 環境影響情報の項を参照。
- ・物理的及び化学的危険性 : 含有率40%が溶媒のエチルアルコールである。
: 消防法上は[非危険物]に分類されるが、エチルアルコールは可燃性液体で蒸気は容易に発火する。

- ： エチルアルコールは常温 (13℃) で気化する。
- ： 高温物体の表面、火花又は裸火との接触により発火する。

GHSラベル要素

総表示又シンボル	:	
注意喚起語	:	危険、警告
危険有害性情報		引火性の高い液体及び蒸気 遺伝性疾患のおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 飲み込むと有害のおそれ 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ 眠気またはめまいのおそれ 重篤な眼への刺激性

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び使用目的

成 分	目 的
エチルアルコール	浸透・安定・除菌
アクリル樹脂系	消臭・分散・安定化
有機窒素系防カビ剤	防黴・消臭
脱イオン水	バランス

【4. 応急措置】

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	:	衣服にかかった場合は、直ちに全ての汚染された衣類を脱ぐこ と。付着または接着部を、直ちに多量の水で十分に洗い流す。 皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受けること。
眼に入った場合	:	豊富な清浄水で、最低 15 分間注意深く洗眼する。 コンタクトレンズは外す。直ちに、眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	:	直ちに、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに、医師の診断を受ける。

【5. 火災時の措置】

消 火 剤	: 水、粉末、炭酸ガス、水溶性液体用泡
消火方法	: 初期の火災には、大量の水噴霧、又は粉末・炭酸ガス等の消火器による消火を行う。
消火を行う者の保護	: 保護具を着用し、可能な限り風上から行う。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項	: 作業の際は、保護手袋をする。 必要により、ゴーグルや保護マスクを使用する。
環境に対する注意事項	: 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収、中和	: 土、乾燥砂等不活性の物質に吸着させて回収する。 漏洩物を掃き集めて、空容器に回収する。
二次災害の防止策	: 付近の着火源を取り除く。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い	: 目的以外には使用しないこと。用法・用量を守って使用する。
技術的対策	: 火気その他点火源となる恐れのあるものに接近させないこと。 また、加熱しないこと。 作業は、換気の良い場所で行うこと。 他製品や原料と併用しない。
注 意 事 項	: 取り扱う設備のある場所を常に整理整頓し、その場所に可燃性のもの、 又は酸化性のものを置かない。 人や火気に向かってスプレーしない。 塗装面(漆、ニス)や白木には触れない。
保 管	: 堅牢なポリ容器、ラミネート加工したキュービテナー、 ケミカルコート石油缶に(遮光性が望ましい)完全に封栓する。
適切な保管条件	: 保管は、通風を良くし、蒸気が滞留しないようにする。 また、火気その他危険な場所から遠ざけて、通風を良くし、温度・湿度・ 遮光に注意し、冷暗所に保管する。 幼児やペットの届かない所に保管する。 (保有温度 : 5～35℃ 原則として) (" : 8～12 ヶ月 原則として)

【8. 暴露防止及び保護措置】

設備対策	: 取扱いについては、火気のない換気の良い場所で行う。
管理濃度・許容濃度	: 化学名 エチルアルコール 管理濃度 未設定

許容濃度	日本産業衛生学会	2006年度版 TMA	未設定
	ACGIH	2006年度版 TMA	1,000ppm
		STEL	未設定
	OSHA	1993 年度版 PEL	1,000ppm

保 護 具	: 適切な保護手袋を着用する。 撥ね飛び又は噴霧によって、眼及び顔面接触が起こり得る時は、 保護メガネや粉じんマスクを着用すること。 必要により保護長靴等を着用する。
衛生対策	: 取扱い後は、よく手を洗うこと。

【9 物理的. 及び化学的性質】

形 状	: 液体
色	: 淡黄色～透明液
臭 い	: わずかにアルコール臭
pH	: 7.5±0.5
比 重	: 0.9～1.1g/ml
引火点	: データなし
沸 点	: データなし
融 点	: データなし

【10. 安定性及び反応性】

安定性	: 通常の取扱い条件においては安定であり、危険有害な分解生成物は発生しない。
反応性	: 酸化するとアセトアルデヒド、より酸化すると酢酸になる。 ナトリウム、カリウム、アルミニウムアマルガムと反応してエトキシドを生成する。(以上エタノール)
揮発性	: データなし

【11. 有害性情報】

※製品としての有害性情報は有しない。

化学物質名 エチルアルコール

急性毒性

LD50（経口）:

ラット : 7,060mg/kg

マウス : 3,450mg/kg

LD50（吸入）:

ラット : 2,0000ppm/10h

マウス : 39mg/m3

皮膚腐食性 : データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データなし
 生殖細胞変異原性 : データなし

【12. 環境影響情報】

環境影響・生体毒性 : 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
 その他

【13. 廃棄上の注意】

使用後の容器等を廃棄処分する時は、内容物をよく水洗いしてから処理する。
 廃棄する場合は、各地方自治体の法令に従い、指定業者に委託する(廃棄物処理法に準じる)。

【14. 輸送上の注意】

国際法規制 : 航空輸送は IATA、海上輸送は IMDG の規則に従う。
 国連分類・国連番号 : クラス 3 (引火性物質) 1170/エタノール
 国内法規制 : 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
 輸送の特定の安全対策 : “【6. 漏出時の措置】”を参照。
 及び条件 : “【7. 取扱い及び保管上の注意】”を参照。
 容器の破損、漏れがないことを確かめる。
 荷くずれ防止を確実に行う。
 該当法規に従い、包装・表示・輸送を行う。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法 : 通知対象物質
 (法第 57 条の 2、通知対象物質)
 (政令番号 第 61 号) エタノール
 危険物 (引火性の物)
 消防法 : 該当しない (普通物)
 PRTR 法 : 該当しない
 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
 船舶安全法 : 引火性物質
 航空法 : 引火性物質

【16. その他】

引用文献

- ・GHS 国連文書 仮訳改訂 2 版(平成 20 年 3 月) 本文及び附属書
- ・化学物質等または製品安全データシート(MSDS)
- ・労働安全衛生法
- ・化学物質等の表示・文書交付制度のあらまし

【お願い】

記載内容につきましては、現時点で入手できる、各成分についての資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

また、安全性を期するため、本製品の最終取扱者に本データの情報が確実に周知・伝達されますよう、格段のご配慮をお願い申し上げます。